

事務事業名		文化施設指定管理事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	4 豊かな心を育む教育・文化づくり					担当組織	担当部	産業文化部	担当課	文化振興課
	政策	2 生涯にわたり学びのあるまちづくり					担当係	文化政策係	担当課長名	浅野 良一	
	施策	2 歴史・文化資源の継承と芸術・文化活動の推進					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	3 文化・芸術に触れる機会の充実					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	2207	一般	2	1	17	文化施設指定管理事業					
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業		任意的事業・義務的事業		任意的事業		
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	19年度～ 年度		根拠法令等	文化施設条例・同条例施行規則					
	実施方法		事業分類		施設維持管理事業(市以外が主体)						
	リーディングプロジェクト		市長マニフェスト		該当なし						

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
文化・芸術や各種催しなど、市民や各種団体が快適かつ安全に施設を利用できるよう、指定管理者により施設の運営と維持管理を行う。 平成21年度までは、葛生あくとプラザのみ指定管理となっていたが、平成22年度からは、文化会館と葛生あくとプラザを併せて文化施設とし、併せて指定管理を導入した。			市民サービスの向上と経費縮減を図るため、指定管理者により、事業運営と施設の維持管理を行った。 指定管理者：(株)ケイミックス 指定期間：平成25年度～平成29年度 ○市民参加事業や舞台芸術鑑賞事業、佐野市出身芸能家支援事業等、全18事業を実施した。 文化会館13事業、あくとプラザ5事業							
			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			利用者数	人	193,326	206,325	206,500	206,600	206,700	
			利用件数	件	1,676	1,809	1,810	1,815	1,820	
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
施設利用者(市民・各種団体) 施設(ホール、ギャラリー等)			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			文化会館の利用総日数	数	1,936	1,769	1,770	1,780	1,790	
			あくとプラザの利用総日数	数	484	536	540	545	550	
目的										
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
・施設を良好な状態で利用できるように維持管理を行う。 ・利用者に施設を安全で快適な状況のもとで利用してもらう。			文化会館を利用した件数	件	1,325	1,427	1,430	1,440	1,440	
			あくとプラザを利用した件数	件	351	382	385	390	390	
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)										
適切に維持管理されている。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			文化会館、葛生あくとプラザ利用者数	人	-	206,325	196,000	196,000	197,000	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)					
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円	125,878	122,495	121,665	121,683	121,594					
	事業費計(A)	千円	125,878	122,495	121,665	121,683	121,594					
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費		
			修繕料	14,428	修繕料	6,672	修繕料	7,372	修繕料	7,372	修繕料	7,372
			通信運搬費	4	通信運搬費	1	通信運搬費	4	通信運搬費	4	通信運搬費	4
火災保険料			145	火災保険料	145	火災保険料	148	火災保険料	148	火災保険料	148	
警備委託料			137	業務委託料	1,178	業務委託料	370	業務委託料	370	業務委託料	370	
廃棄物処理委託料			215	指定管理料	113,736	指定管理料	113,771	指定管理料	113,789	指定管理料	113,700	
文化施設指定管理料			110,494	補償金	763							
正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2						
のべ業務時間	時間	240	240	240	240	240						
人件費計(B)	千円	934	946	946	946	946						
トータルコスト(A)+(B)	千円	126,812	123,441	122,611	122,629	122,540						

事務事業名	文化施設指定管理事業	担当部	産業文化部	担当課	文化振興課	担当係	文化政策係
-------	------------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	文化会館は昭和54年6月に、あくとプラザは平成10年4月に開館した。平成22年度から両施設を併せ文化施設とし、指定管理者による管理となった。(あくとプラザは平成19年から指定管理を実施)
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	指定管理者制度が浸透し、多くの自治体が各種の分野で制度を導入するようになった。一方で、これまで施設の管理・運営を行ってきた外郭団体は、民間企業との競争により団体の存続にまで影響を受けることとなった。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	指定管理になり、地元出身芸能家の支援事業を開催するほか、有名アーティストのコンサートを開催するなど、自主事業の幅が広がった。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案 指定管理による施設の維持管理を行うことにより、文化・芸術活動の場をより良い状況のもとで利用者に提供することができ、個人や団体等の文化・芸術活動の支援につながるため、目的は政策体系に結びついている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	委ねている	理由・改善案 民間企業に指定管理を委託している。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案 施設を適正に維持管理することで、利用者に、施設を快適かつ安全に利用していただくことになるので、対象・意図は合っている。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案 指定管理により、自主事業の内容が豊富になり、大物芸能家のコンサートも開催するようになった。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案 類似事務事業名
	* 類似事務事業があれば、名称を記入		
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案 平成22年度から文化施設として、指定管理者に一体的管理を委託している。コスト削減は図られているため、削減の余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担を見直す必要がある	理由・改善案 施設の利用状況等を把握して上で、今後、受益者負担の見直しを検討する余地がある。見直し際には、地域性等も考慮する必要がある。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？) 市民の文化・芸術活動の場がなくなるため、廃止又は休止することはできない。 文化施設を廃止すれば事業は終了となる。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																		
受益者負担の適正化 * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 利用料金を見直しを検討する。	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	○	×	低下	×	×	市全体で、施設利用の際の使用料や手数料を見直す中で、適正な金額に改正していく。
	コスト																			
	削減	維持	増加																	
成果	向上																			
	維持	○	×																	
	低下	×	×																	